

議事2)「子どもとご家庭の生活・ニーズに関する調査」(案)

「子どもの貧困対策に関する教職員アンケート」(案)について

今回実施するアンケート調査は、平成28年12月に実施した前回調査と比較検討することで、施策の効果や課題を検証することを目的としています。

そのため、基本的に、調査票の設問は変更しないで実施する方針です。

しかしながら、第1回会議で出されたご意見と前回アンケートの反省点を参考に、一部設問の変更と追加を提案させていただきます。

保護者アンケート

① 変更

設問1「家族構成について」の変更になります。

前回アンケートでは、記入方式でしたが、他の設問との整合性がとれない回答が多くみられましたので、選択方式の設問に変更します。

② 追加

設問8「民間支援について」の追加になります。

前回の会議で出されたご意見を参考に、民間支援の利用状況を尋ねる設問を加えることとしました。このアンケートを通し、民間支援の存在を知っていただく機会にするとともに、利用状および協力の意向を尋ね、傾向をとらえる材料にしたいと考えます。

教職員アンケート

③ 追加

設問8「民間支援について」の追加になります。

民間支援の認知状況、民間支援の役割を尋ねる設問を加えることとしました。

設問9「子どもの貧困対策の進捗状況について」の追加になります。

これまでの施策の成果を問う設問を加えることとしました。

アンケートの調査票については、本日の会議での協議を経て、市関係課・教育委員会での決裁後に、内容が確定することとなります。

各小中学校、保育所(園)に配布・回収の協力をお願いし、9月末からの実施を予定しております。

(修正)

日向市子どもと家庭の生活・ニーズに関する調査 (修正後)

問1 <家族構成についてうかがいます>

(1) 略

(2) ご家族は何人ですか。お子さん本人、単身赴任中や就学中の方などで生計を同じくしている方を含みます。あてはまる番号を選んでください。

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人
6. 6人	7. 7人	8. 8人以上		

(3) (2) のご家族のうち、次の方はいらっしゃいますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. お母さん	2. お父さん	3. おばあさん	4. おじいさん
---------	---------	----------	----------

(4) (2) のご家族のうち、お子さんの兄弟(姉妹)は何人ですか。お子さん本人を含みます。あてはまる番号を選んでください。

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人
6. 6人	7. 7人以上			

(5) (4) の兄弟(姉妹)のうち、中学校3年生以下のお子さんは何人ですか。お子さん本人を含みます。あてはまる番号を選んでください。

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

日向市子どもと家庭の生活・ニーズに関する調査 (修正前)

問1 <家族構成についてうかがいます>

(1) 略

(2) 家族構成を教えてください。記入例にあわせて、ご記入ください。単身赴任や大学の就学等で一時的に別居している方も含みます。また、同居している方で、お子さんと生計を別にしておられる場合があれば教えてください。

	お子さんとの関係	続柄コード	年齢	別居している	生計が別
例1	本人	0	11		
例2	母	1	42		
例3	父	2	43		
例4	兄	3	19	別	
例5	姉	3	14		
例6	祖母	4	66		別
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

*続柄コードはお子さんからみた以下の続柄の番号を記入してください。

0 : お子さん本人 1 : 母 2 : 父 3 : 兄弟姉妹 4 : 祖父・祖母
5 : おじ・おば 6 : その他の親族 7 : 親族以外の同居人

(追加)

日向市子どもと家庭の生活・ニーズに関する調査

問8 <民間支援についてうかがいます>

(1) この数年で民間団体による支援の輪が急速に広がりを見せています。次の民間支援について、市内で取り組まれていることを知っていますか。

	知っている	知らない
1. 子ども食堂 ※1	①	②
2. 子どもの学習支援 ※2 (無料の勉強会、個別指導)	①	②
3. フードバンク ※3 (食糧支援)	①	②

※1 子ども食堂・・・子どもに地域の大人と交流しながら、食事ができる機会を提供する取り組み。(食事が十分でなかったり、孤食がちな子どもに食事を提供する目的もある。)利用者に制限はなく、地域における子どもの居場所となっている。

※2 子どもの学習支援・・・学習習慣を定着できる機会が、家庭環境から不足している小中学生を対象に、大学生や元教員などの協力で、宿題や苦手教科などの学習をサポートする取り組み。

※3 フードバンク・・・食の確保が難しい場合に、一時的に食糧を支援する取り組み。(食糧は個人や企業からの無償提供)

(2) (1) で知っているとした人は、何によって知りましたか、あてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答可)

- | | | | |
|----------------|-------------|------------|-----------------|
| 1. 子ども | 2. 友人・知人 | 3. 隣人・地域の人 | 4. 学校・保育所(園)の先生 |
| 5. 民間団体やボランティア | 6. 民生委員 | 7. 社協 | 8. テレビ |
| 9. ラジオ | 10. インターネット | 11. 市の広報紙 | 12. チラシ |
| 13. その他 () | | | |

(3) これまでに1回でも、お子さんが利用したことがありますか。

	利用したことがある	利用したことがない
1. 子ども食堂	①	②
2. 子どもの学習支援 (無料の勉強会、個別指導)	①	②
3. フードバンク (食糧支援)	①	②

日向市子どもの貧困対策に関する教職員アンケート

問8) 民間支援についておたずねします。

(1) この数年で民間団体による支援の輪が急速に広がりを見せています。次の民間支援について、市内で取り組まれていることを知っていますか。

	知っている	知らない
1. 子ども食堂 ※1	①	②
2. 子どもの学習支援 ※2 (無料の勉強会、個別指導)	①	②
3. フードバンク ※3 (食糧支援)	①	②

※1 子ども食堂・・・子どもに地域の大人と交流しながら、食事ができる機会を提供する取り組み。(食事が十分でなかったり、孤食がちな子どもに食事を提供する目的もある。)利用者に制限はなく、地域における子どもの居場所となっている。

※2 子どもの学習支援・・・学習習慣を定着できる機会が、家庭環境から不足している小中学生を対象に、大学生や元教員などの協力で、宿題や苦手教科などの学習をサポートする取り組み。

※3 フードバンク・・・食の確保が難しい場合に、一時的に食糧を支援する取り組み。(食糧は個人や企業からの無償提供)

(2) 貧困と言われる状況にある、家庭や子どもに対して、民間支援の役割をどのように考えますか。教育との連携という視点から、ご意見をお聞かせください。(自由筆記)

問9) 子どもの貧困対策の進捗状況について

平成26年1月に「子供の貧困対策の推進に関する法律」が施行されて以降、行政・企業・民間団体などにおいて、様々な子どもの貧困対策の取り組みが進められていますが、教育の現場で、改善・拡充が進んでいると感じる施策がありますか。あてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答可)

- | |
|------------------------|
| 1. スクールソーシャルワーカーの配置の拡充 |
| 2. スクールカウンセラーの配置の拡充 |
| 3. 教職員の業務軽減 |
| 4. 就学援助制度の家庭への周知の徹底 |
| 5. 要保護児童対策協議会との連携 |
| 6. 福祉行政との連携 |
| 7. 民間支援との連携 |
| 8. 特に感じられない |
| 9. その他 () |

(4) 今後、利用できる機会があれば、お子さんに利用させてみたいと思いますか。

	利用させたい	利用させたくない
1. 子ども食堂	①	②
2. 子どもの学習支援 (無料の勉強会、個別指導)	①	②

(5) これらの民間支援が取り組みを継続・拡充していくためには、市民や企業、行政などの協力が必要と考えます。あなたは、このような取り組みに機会があれば、協力したいと思いますか。

	協力したい	協力できない
1. 子ども食堂	①	②
2. 子どもの学習支援 (無料の勉強会、個別指導)	①	②
3. フードバンク (食糧支援)	①	②